

## サイボウズと神奈川県三浦市農協、農業のIT化推進で連携を発表

市内農家の約80%がkintoneを採用し、第一弾は「有線放送代替システム」を開始  
リアルタイムの情報共有により、農業の収益安定化を目指す

サイボウズ株式会社（本社：東京都中央区、社長：青野慶久、以下サイボウズ）と、三浦市農業協同組合（所在：神奈川県三浦市、以下三浦市農協）は、三浦市における農家の収益安定化を目的とした農業のIT化推進で連携を開始することを発表いたします。第一弾の取り組みとして、2017年5月1日より、神奈川県内で初めての有線放送代替システム「アグリコネクト三浦」を運用しております。これは、サイボウズのkintoneを基盤とした市況や概況などの情報を共有するプラットフォームで、市内の約80%の農家様でご採用いただいております。また、第二弾として「出荷物の自動振り分けシステム」の構築を予定しております。



< 「アグリコネクト三浦」の画面 >

■導入の背景：「有線放送システム」の老朽化

三浦市農協では、昭和32年から運営していた野菜の概況や市況（単価）を各農家へ報告する『有線放送システム』の老朽化が進んでいました。有線放送の維持費が高く、運営困難な状況となっていたため代替システムを検討する中で、kintoneの低価格・容易性が評価され、採用いただきました。

■「アグリコネクト三浦」の概要

運用開始日：2017年5月1日～

導入件数：651件（5月末時点）

利用できる機能：市況情報、概況、お知らせなどの閲覧

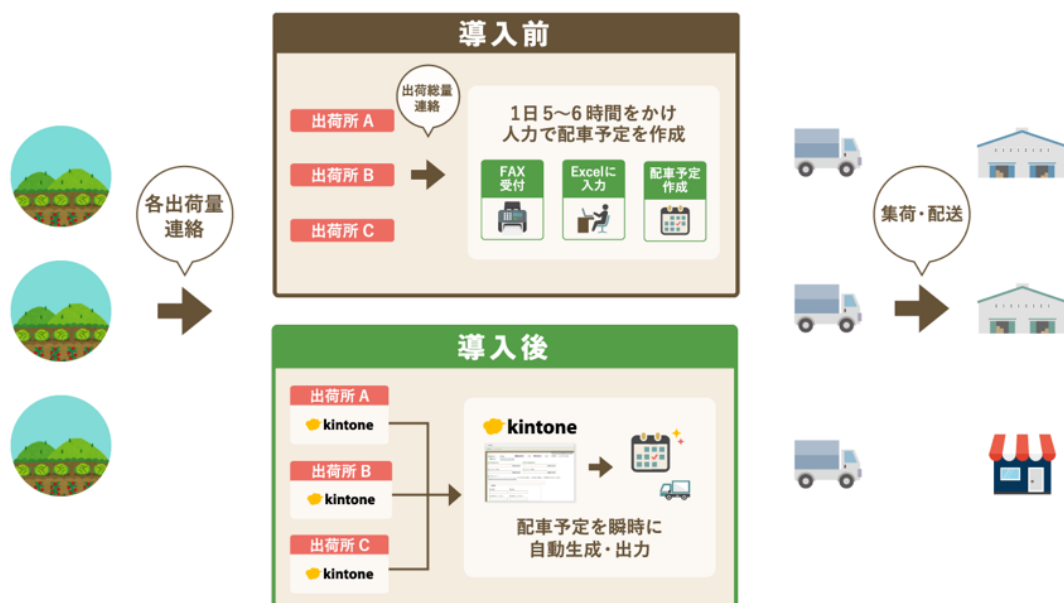
システム利用のための端末は三浦市農協から農家様に無料配布され、kintoneの月額利用料については農家様ごとにご負担いただいております。「アグリコネクト三浦」の導入説明会后1週間で、市内農家の約77%にあたる633件のお申し込みがありました。

概況や市況などの情報が素早く共有されることで、農作物の価格を安定させる出荷計画などが可能になり、農家の収益安定化に貢献できます。

■第二弾「出荷物の自動振り分けシステム」について（予定）

農業IT化連携の第二弾では「出荷物の自動振り分けシステム」の構築を予定しています。通常、各農家からの出荷情報を出荷所がとりまとめ、出荷情報をFAXで受け取った農協が手作業で約50の市場へのお荷物振り分けプランを作成していました。今回、第二弾として構築を進めている「出荷物の自動振り分けシステム」により、出荷所にてkintoneに出荷情報を入力すると、瞬時に出荷物振り分けプランが自動生成され、作業時間が1日あたり5、6時間削減されることとなります。

「出荷物の自動振り分けシステム」は17年7月より実証実験が開始され、12月頃からの本格的な運用開始を予定しております。



< 「出荷物の自動振り分けシステム」 のイメージ図 >

■ kintone とは？

サイボウズ株式会社が提供する、業務アプリ開発プラットフォームです。営業の案件管理、お客さまからの問い合わせ履歴やクレーム対応の管理、プロジェクトの進捗やタスク管理、従業員の業務日報など、お客様の用途にあわせた業務アプリの作成が可能です。アプリケーションはノンプログラミングで開発できます。また、社内 SNS のようなコミュニケーション機能もあり、スピーディーな情報共有が可能になり、業務の効率化を実現します。

■ 報道関係者様からのお問い合わせ先

サイボウズ株式会社 マーケティングコミュニケーション部 広報：日高  
 〒103-6027  
 東京都中央区日本橋 2-7-1 東京日本橋タワー27 階  
 TEL: 03-4306-0803 / FAX: 03-5204-1040 / MAIL: pr@cybozu.co.jp

※記載された商品名、各製品名は各社の登録商標または商標です。また、当社製品には他社の著作物が含まれていることがあります。

個別の商標・著作物に関する注記については、こちらをご参照下さい。

[http://cybozu.co.jp/company/copyright/other\\_companies\\_trademark.html](http://cybozu.co.jp/company/copyright/other_companies_trademark.html)